



福島建設工業

福島建設工業新聞

防波堤復旧が本格化
楢葉町
前原・山田浜地区など



安全祈願祭・起工式には地域住民ら約50人が出席。添田彰田中建設取締役企画部長、横山佳弘横山建設社長らがクワ入れを行った。

東日本大震災の津波で甚大な被害が出た楢葉町内の建設海岸災害復旧で、本格的な防潮堤工事が始まるのを前に27日、山田浜海岸で安全祈願祭と起工式が行われた。双葉郡内の建設海岸災害復旧の起工式は広野町、浪江町に続いて3番目。

楢葉町内で海岸災害復旧工事が行われるのは①前原・山田浜地区(復旧延長9.19・8㍎)②井出地区(同6.08㍎)③波倉地区(同3.44・2㍎)。

津波の襲来を踏まえ、防潮堤はTP8・7㍎とし陸側に約30㍎後退させる。防潮堤は2割の勾配で盛土し、厚さ50㍎のコンクリートブロックで表面を覆う粘り強い構造とする。

同地区が避難指示解除準備区域に再編された24年12月に災害査定を受け、富岡土木事務所が25年4月に測量・調査・設計に着手、26年7月から離岸堤と消波堤など消波

注 一年に続き今年大台を超えて、一条工務積水ハウスがハイキスハイキス年間200万を果たした。



建設業の楽しさ体感 JR常磐線で親子見学会 県建設業協会は24日、工事現場で、第3回親子山元町(宮城県)と新地建設現場見学会を開いた。夏休みの思い出に、子どもたちが普段見る機会の少ない高架橋、トンネルなどの鉄道新設工事

注 一年に続き今年大台を超えて、一条工務積水ハウスがハイキスハイキス年間200万を果たした。

8月3日から災害査定 震災、地すべり5億申請 公共土木施設 今年4月発生した地すべりによる帰還困難区域等

定が、8月3日から7日までの日程で行われる。地滑り災害分は27年災1次査定として、柳津町の県と市町村管理施設各1カ所(4月8日発生)、金山町の町管理施設1カ所(同22日発生)を申請する。

発行所 福島市西中央2丁目59 (郵便番号960-8074) 福島建設工業新聞社 電話(024)534-7456 (大代表) ©福島建設工業新聞社 (公社)日本専門新聞協会加盟紙 ホームページ http://www.fk-news.co.jp e-mail hensyu@fk-news.co.jp

経費削減 企業合理化の決め手 TOYOTA レンタリース 024(941)2131

定が、8月3日から7日までの日程で行われる。地滑り災害分は27年災1次査定として、柳津町の県と市町村管理施設各1カ所(4月8日発生)、金山町の町管理施設1カ所(同22日発生)を申請する。